

令和4年 アユの漁況

資料1-1

組合名等	相模川漁業協同組合連合会					酒匂川漁業協同組合					早川河川漁業協同組合					湯河原観光漁業協同組合					川崎河川漁業協同組合							
	内共第1,18号、解禁日:6月1日					内共第3号、解禁日:6月1日					内共第4号、解禁日:6月1日					内共第6号、解禁日:6月5日					内共第12号、解禁日:6月1日							
解禁日の状況	1人当たり尾数		平均		遊漁者数	1人当たり尾数		平均		遊漁者数	1人当たり尾数		平均		遊漁者数	1人当たり尾数		平均		遊漁者数	1人当たり尾数		平均					
	最多	平均	体長	体重		最多	平均	体長	体重		最多	平均	体長	体重		最多	平均	体長	体重		最多	平均	体長	体重				
解禁日以降の状況	400人	80尾	35尾	14cm	35g	500人	170尾 (ドブ釣)	10~20尾 (友釣)	14.5cm	20~25g	102人	180尾	31尾	14cm	45g	10人	20尾	5~6尾	16cm	15g	50人	13尾	8尾	15cm	-			
解禁日以降の状況	《相模川》 釣り人 魚影 遡上の型 上流部: 少ない 濃い 小さい 中流部: 平年並 平年並 中位い 下流部: 少ない 平年並 中位い 大川原: 少ない なし 見えない  《中津川》 釣り人 魚影 遡上の型 上流部: 平年並 非常に濃い 大きい 中流部: 多い 濃い 大きい 下流部: 少ない 平年並 中位い					〔山北地区〕天然遡上が多く、ドブ釣りは釣果が見られた。友釣りは大きめで16cm程度。おとりにならない小さいアユも釣れた。 〔松田地区〕釣り人は多く、1日で40尾の釣果があったが、小さいのも目立った。 〔小田原地区〕友釣りの釣果は伸びず、多くて15尾程度。5月27日夜半からの降雨により1mの増水と濁りで、解禁日の小田原地区は垢付きが悪く、釣果は伸びなかった。 ・山北、松田では残り垢もあったので、多少良かった。また、丹沢湖の濁りもあり、濃い笹濁り状態が続いた。					・大涌谷から噴出して早川に流れる硫黄は、現在も余り減少は見られない。  ・雨が降ると硫黄が早川に流れ出て、魚に悪影響を及ぼしている。					・河川はきれい。  ・魚量は少ない。  ・遡上量が多い。  ・水温は15℃で低い。					〔宇名根〕釣り人:7名 サイズ:15~19cm、釣果:0~10尾  〔平瀬川河口〕釣り人:2名 サイズ:13~19cm、釣果:2~10尾  〔第三京浜上流〕釣り人:7名 サイズ:13~19cm、釣果:4~10尾  〔東名上流〕釣り人:8名 サイズ:15~20cm、釣果:0~13尾							
漁法別の釣果	漁法	1人当たり尾数		平均の体長又は体重		漁法	1人当たり尾数		平均の体長又は体重		漁法	1人当たり尾数		平均の体長又は体重		漁法	1人当たり尾数		平均の体長又は体重		漁法	1人当たり尾数		平均の体長又は体重				
		最多	平均				最多	平均				最多	平均				最多	平均				最多	平均					
	友釣り	40尾	18尾	16cm		友釣り	45尾	15尾	8~16cm, 5~30g		友釣り	60尾	10尾	15cm		友釣り	15尾	3~4尾	15g		友釣り	-	-	-				
	毛針釣	25尾	20尾	11cm		毛針釣	150尾	30尾	7~16cm, 3~25g		毛針釣	180尾	30尾	45g		毛針釣	20尾	12尾	15g		毛針釣	-	-	-				
コログシ	80尾	35尾	10cm		コログシ	53尾	20尾	7~16cm, 4~26g		コログシ	-	-	-		コログシ	-	-	-		コログシ	13尾	5尾	15cm					
ドブ釣	25尾	20尾	11cm		ドブ釣	170尾	-	8~15cm, 4~25g		ドブ釣	-	-	-		ドブ釣	-	-	-		ドブ釣	-	-	-					
水量と水温	水量の動向		水温の動向		水温	水量の動向		水温の動向		水温	水量の動向		水温の動向		水温	水量の動向		水温の動向		水温	水量の動向		水温の動向		水温			
	多い		平年並み		19.5℃	多い		低い		18℃	平年並み		平年並		18℃	少ない		低い		15℃	平年並み		平年並み		24℃			
今後の見通し	・天然遡上が早く、生育も順調のようで、平均的に大きめの釣果がある。					・天然遡上も多いことから多少期待がもてると思われる。しかし、梅雨に入り大雨によっては河川状況が悪化し、回復に時間がかかることや丹沢湖の濁りが心配される。					・今後も釣果は見込めると思われる。					・遡上量は期待できる。					・遡上数は多いので、数は期待できると思われる。  ・数が多い分、サイズは上がらないと思われる。							
前年との比較	・天然遡上が多いので、近年稀にみる遡上数が期待できる。					・前年より遡上量も多く、山北地区の谷峨本流で特別採捕による汲み上げ(約15,000尾)を行うことができた。また、遡上が早かったことから前年より天然アユの育ちが良いと思われたが、後半の遡上では小ぶりが多く見られた。 ・河川全体に遡上の稚アユが見られ、苦情はなかった。					・前年と比較すると、尾数、アユサイズ及び釣り人も非常によい。					・大きさは前年と同じくらい。  ・釣り人は少ない。					・前年より確実に遡上数が多く、放流量も増やしたので期待できる。  ・サイズは小さめと思われるが、6月には20cm近くの魚が中心になると思われる。							
放流の状況	人工産		海産		-	人工産		海産		-	人工産		海産		-	人工産		海産		-	人工産		海産		-			
	(実績)		3,600kg			3,000kg	1,497kg		-		330kg	200kg		-		150kg	25,000尾		-		15,000尾	-		-				
	(予定)		1,000kg			3,400kg	3,000kg		-		-	100kg		100kg		-	15,000尾		20,000尾		-	-		-				